会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（エクシード茅ヶ崎自治会）
2　日時	平成30年8月19日（日）15：00～16：00
3　場所	エクシード茅ヶ崎　集会室
4　出席者	（資源循環課）原田副主査 （環境事業センター）林所長補佐、鈴木主事 （エクシード茅ヶ崎自治会）参加人数：23人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●自治会ではマンション住民の不適正排出に困っている。袋に部屋番号を書いてもらうようお願いしているが、効果的な分別のアイデアはないか。 →市では、今回作成した紙の分別チラシについて、今後他の品目においても作成するなど、分かりやすい啓発を行っていく予定である。自治会の要望に応じて分別に関する環境学習等も実施できる。引き続き分別の取組を進めていただくようお願いしたい。 ●資源化によってどの程度の金額の還元があるのか。効果を示すことによって住民の意識も高まると思う。それによってある程度の金額の効果が得られれば、有料化の負担も軽減できるのではないか。 →資源物については売却を行い、毎年度1億2,000万円から1億5,000万円程度の売却益が得られる。自治会ごとに収集量に応じて補助金をお渡ししており、地域の方の意識を高める上では、そのような周知も必要であると認識している。 ●個別に市民が指定の袋を有料で購入するとなるとごみを出さずに溜め込む方がいるのではないか。指定の袋を購入するのではなく、各世帯に配布するようにしてはどうか。 →有料化を実施している各市では、各世帯のごみ排出量に応じ、いくつかのサイズの袋を製作し店舗で販売し購入していただいている。各世帯に必要な枚数を配布するのは物理的に困難である。 ●今回の説明で将来的にごみは減少していく予測であるが、処分場の課題がある中で、市として有料化を進めていきたいということなのか。どういう趣旨で説明しているのか。 →ごみ減量を進める上で、有効な方策のひとつであるという認識を持っている。他市においても過去に施設の課題などがあり、有料化を導入した結果、効果が上がっていることから、本市においても検討を行っているが、市民に対して影響が大きい施策であるため、このような形で意見をお伺いした上で、慎重に検討を進めたいと考えている。

●有料化が実施された場合は、プラスチック製容器包装類は回収しなくなるのか。
→他市では有料化の対象を可燃・不燃ごみとしているが、資源物を回収しないということではない。
●生ごみなど燃やせるごみとして収集されたものは、品目をさらに分別して燃やしているのか。
→燃やせるごみとして収集したものは、分別せずにそのまま燃やしている。
●プラスチック製容器包装類はどのように捨てるのか。燃やせないごみとするのか。
→有料化の対象を可燃・不燃ごみとしており、資源物は資源物で別の方法で出していただいている。
→有料化の対象を可燃・不燃ごみとし、資源物を分けることによって、分別が進むような仕組みとなっている。
●可燃ごみと不燃ごみの袋は一緒か。
→専用の袋と共通の袋がある。
●共通の袋には可燃ごみと不燃ごみを一緒に入れてよいのか。
→同じ袋を用いてどちらも出すことができるが、可燃ごみと不燃ごみは収集日が分かれているので、一緒に入れることはできない。

●茅ヶ崎市のごみの排出量は他市と比べて多いのか。
→他市と比較して極端に多いということはない。

●他市で減量が進んでいるということであれば、有料化をする効果はあると思う。紙の発生を抑止し、ペーパーレスを推進していくべきである。民間企業のポスティングチラシを減らすような取り組みは出来ないのか。
●ポストに投函されるカタログに困っている。
→チラシの投函は非常に多いと実感している。しかしながら、市として営利を目的とする民間の広告に規制をかけることは難しい。

●飲料パックは、必要としている団体に寄附している。

●臭いが付いてリサイクルできない紙がどの程度あるのか記載しなければ、読んだ方の実感がわかない。
→ご意見としてお伺いする。

●平成 44 年度にごみが約 10%減量になるということであるが、これには有料化などの施策の効果が含まれているのか。
→含まれていない。近年のごみの排出傾向と人口推計により見込んでいる。
●資料から問題点や目標が読み取れない。そこが見えなければ、有料化の議論を深め

	られない。 →現在検証作業を実施している段階であり、具体的な減量目標などは記載できていない。今後段階的に数値を示していく中で、改めてご意見をいただいていくことを考えている。 ●先行して有料化を実施している他市の減量実績や経費削減額は把握しているのか。 →減量実績は把握しているが、それによってどの程度経費が削減されたかということは把握していない。今後検証を進めていきたい。 ●高齢化を見据え、有料化になっても戸別収集を実施してもらいたいという意見は多いと思う。福祉的な視点を持って検討を進めてもらいたい。 →実際にそのような意見を多くいただいている。現在、戸別収集に掛かる経費を算定しており、その検証を踏まえ、有料化や戸別収集の実施の可否、やる場合はどのような形で実施するかということを来年度方針として示していく予定である。 ●今後の高齢化を見据え、マンションとしても考えていかなければいけない問題である。引き続き市から情報提供をいただきながら取り組んでいきたい。 以上